

小児がんの治癒研究開発支援 2017年

- ◆新しい小児がん医療提供体制構築を目指した全国規模の多施設共同研究の計画並びに実施
代表研究者 NPO法人日本小児がん研究グループ (JCCG) 真部 淳 先生
- ◆新規治療開発を目的とした中枢神経系胚細胞腫のゲノム・エピゲノム統合解析
代表研究者 国立研究開発法人国立がん研究センター 市村 幸一 先生
- ◆神経芽腫新規治療としてのMEK阻害薬の前臨床研究、およびその臨床応用へ向けたバイオマーカーの検討
代表研究者 京都府立医科大学小児外科 文野 誠久 先生
- ◆転移性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対する集学的治療法の開発
代表研究者 岡山大学医学部整形外科 尾崎 敏文 先生
- ◆初発の頭蓋内原発胚細胞腫に対する放射線・化学療法第Ⅱ相臨床試験
(研究組織：日本中枢神経胚細胞腫研究グループ)
代表研究者 埼玉医科大学国際研究センター 松谷 雅生 先生
- ◆進行神経芽腫に対する抗GD2抗体・高活性NK細胞併用療法の開発
代表研究者 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 石井 生 先生
- ◆メダカ胚とマウスをモデルとする放射線照射後の脳内免疫細胞の過剰な活性化による脳内炎症の予防に関する研究
代表研究者 東京大学大学院新領域創成科学研究科 保田 隆子 先生
- ◆入院中の小児がんの子どもを持つ父親と母親の就労状況の変化が、親の健康関連QOLに与える影響—子どもの看病に対する親の価値観に焦点を当てた横断観察研究—
代表研究者 東京大学大学院医学系研究科 上別府 圭子 先生
- ◆頭蓋内原発胚細胞腫に対する集学的治療方法の確立
代表者研究 : 埼玉医科大学名誉教授 松谷 雅生 先生
 - ・初発の頭蓋内原発胚細胞腫に対する放射線・化学療法第Ⅱ相臨床試験
 - ・小児脳腫瘍研究支援事業
- ◆一般社団法人 日本小児血液・がん学会
20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究のための疾病登録事業
- ◆TCCSGスカラシップ
奨学金受給者 東京大学医学部附属病院 小児科 関 正史 先生
研究課題 再生不良性貧血、MDSにおけるゲノム、エピゲノム異常に関する研究
留学先 karolinska Institutet (Stockholm Sweden)
留学期間 2018年2月1日～2020年3月31日 (2018年分に対して奨学金支給)

以 上